

新シラバス対応 JSTQB Advanced Level (テストマネージャ)資格試験説明会

2013年10月21日(月)

Japan Software Testing Qualifications Board

セミナーの目的

- 2012年度版のJSTQB Advanced Levelシラバス改訂について理解する
- 次回のJSTQB Advanced Level テストマネージャ試験について理解する

アジェンダ

- JSTQBについて
- Advanced Levelについて
- 次回の試験について
- 質疑応答

JSTQBについて

JSTQBとは？

- 日本においてソフトウェアテスト技術者資格認定を運営する組織です。

JSTQB=Japan Software Testing Qualifications Board

<http://jstqb.jp/>

- 2005年4月、ISTQBに加盟組織として認定されました。

ISTQB=International Software Testing Qualifications Board

<http://www.istqb.org/>

世界各国のテスト技術者認定組織が参加

認定組織は資格、教育訓練組織認証を実施し、相互認証を行っています

ISTQB資格認定の目的

- 国をまたいでテストのスキルを同等の基準で判断できるため。
- テスト技術者が更に簡単に国をまたいで仕事をできるようにするため。
- 多国籍／国際的なプロジェクトがテストに関して共通の認識を持つようにするため。
- 世界的にテストの資格認定者数を増やすため。
- 一国だけでアプローチするより、国際的な基準を背景にすることで更に価値を持たせるため。
- シラバスなどを通して、国際的にテストへの理解と知識の体系を普及させ、全ての本資格認定に関わる人たちの知識レベルを上げるため。
- テストがプロフェッショナルな能力を必要とすることを多くの国々で普及させるため。
- テスト技術者が各国の言葉を用いて資格認定を取得できるようにするため。
- 知識とリソースを各国で分かち合うことができるようにするため。
- 多くの国が本資格認定に関わることによって、テストの人材と本資格の国際的認知度を高めるため。

Advanced Levelについて

位置づけ

- ISTQBソフトウェア資格認定制度では、スキルレベルを三段階に分けています。



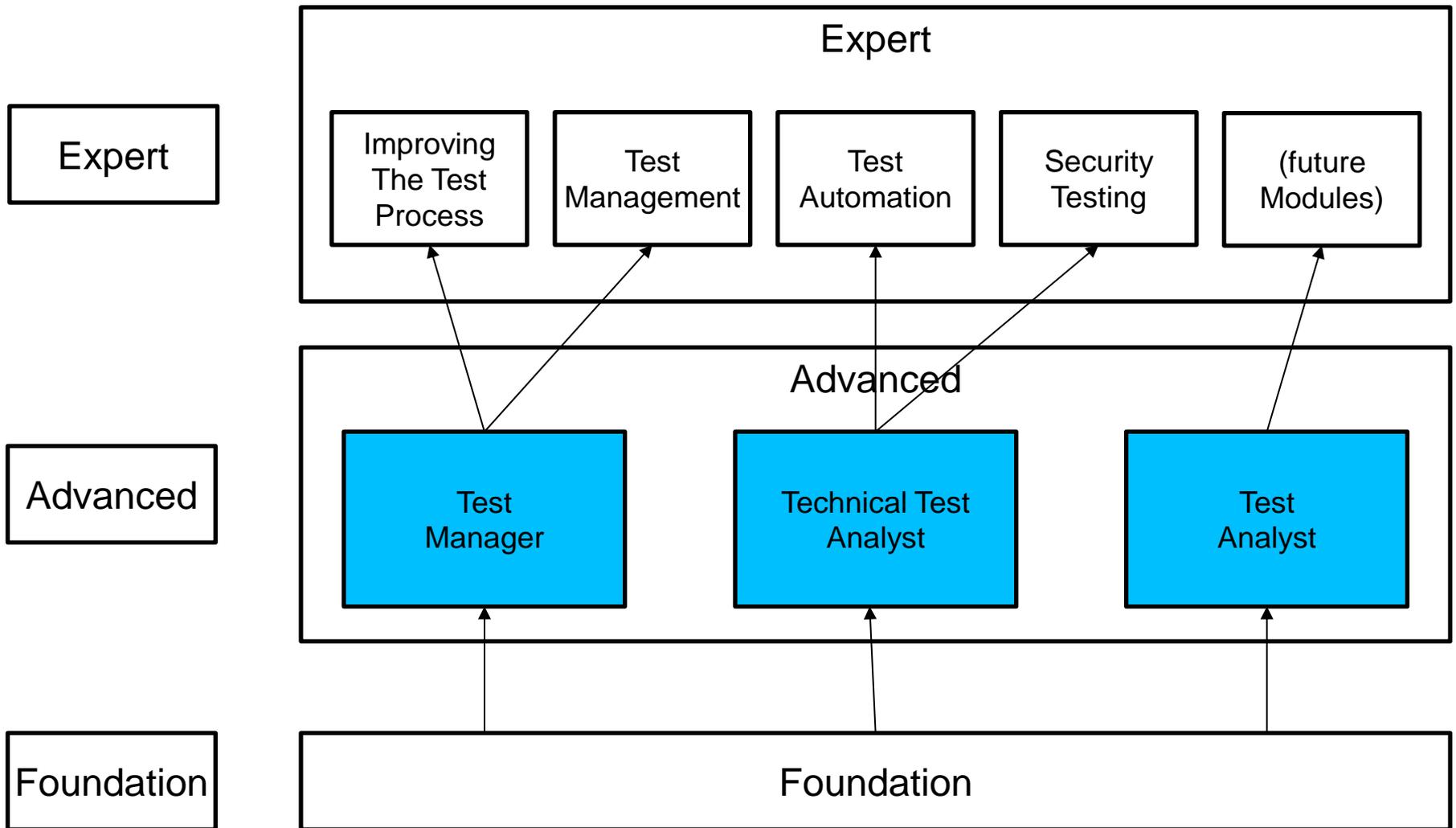
対象者

- Advanced Levelの資格は、ソフトウェアのテストの分野で高度なレベルに到達している人を対象としています。
- 想定対象者:ソフトウェアテスト作業に関与するすべての人
 - テスト担当者
 - テストアナリスト
 - テストエンジニア
 - テストコンサルタント
 - テストマネージャ
 - ユーザ受け入れテスト担当者
 - ソフトウェア開発者
- さらに、ソフトウェアテストへの深い理解を望む人々
 - プロジェクトマネージャ
 - 品質管理マネージャ
 - ソフトウェア開発マネージャ
 - ビジネスアナリスト
 - IT部門長
 - 経営コンサルタント

資格種別

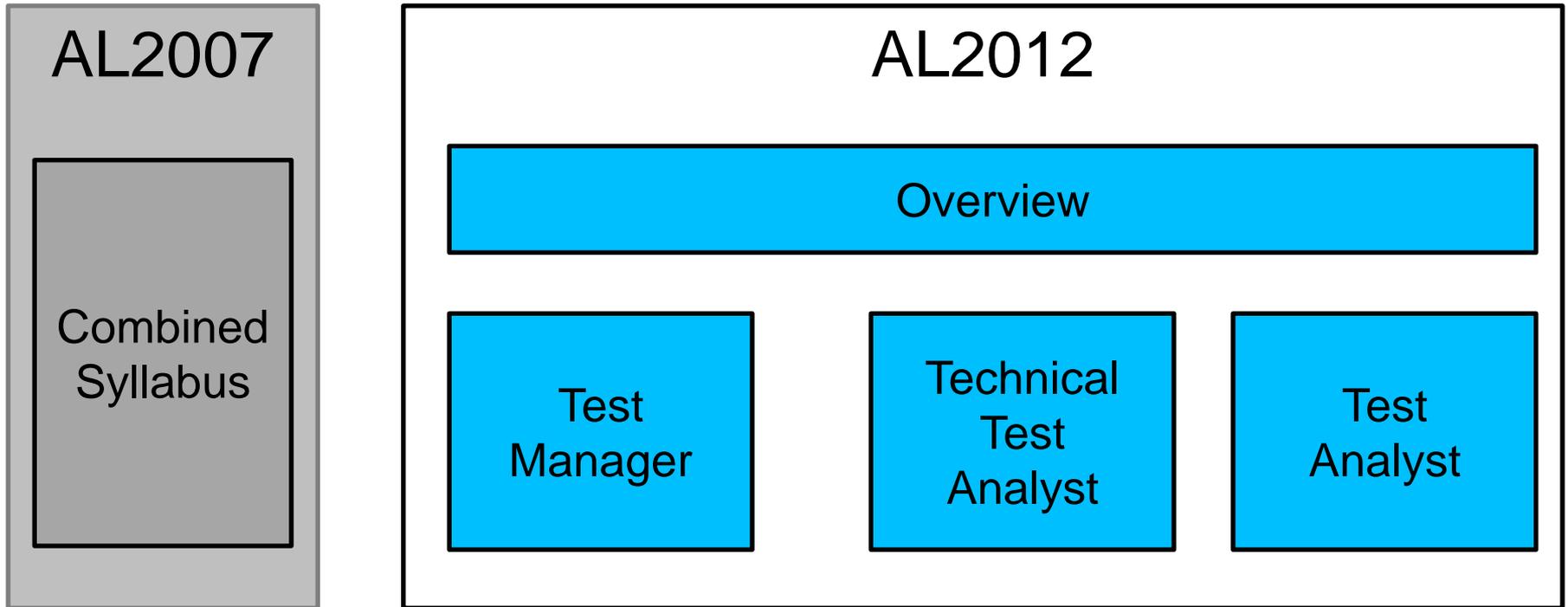
- Advanced Level認定は、主要な3つの資格種別において、組織内における代表的な基本的責務と期待されることについて試験します。
- Advanced Levelの資格種別は次の3つがあります。
 - Advanced Level テストマネージャ
 - Advanced Level テクニカルテストアナリスト
 - Advanced Level テストアナリスト
- 各資格種別は独立しており、共有または共通の要素は存在しません。

資格種別とシラバス



ISTQBテスト技術者資格制度 Advanced Level シラバス 日本語版 概要 Version 2012.J01より引用

AL2007とAL2012の主な違い



ISTQBテスト技術者資格制度 Advanced Level シラバス 日本語版 概要 Version 2012.J01より引用

AL2007とAL2012の主な違い

- ビジネス成果(BO)ベース
 - 資格種別毎にビジネス成果を規定
 - 個々の専門領域のAdvanced Levelで習得することを期待する要件を示す
 - シラバスの学習の目的はこのビジネス成果から展開

- 学習の目的(LO)の改訂
 - 誤った解釈をする可能性を取り除く
 - 複数の内容にまたがっている学習の目的を分ける

AL2007とAL2012の主な違い

- テストマネジメントシラバスの改訂
 - Foundation Levelとの重複部分の削除
 - Expert Levelシラバスとの範囲および内容の調整
 - 「欠陥マネジメント」章の拡充
 - 欠陥マネジメントライフサイクルの設定
 - プロセス改善のための欠陥データの活用

認定資格者に期待されるビジネス成果 (BO)

■ Advanced Level テストマネージャ

TM1	テスト実施組織のために設定された使命、目標およびテストプロセスを実装することによってテストプロジェクトをマネジメントする
TM2	リスク特定およびリスク分析をセッションとして編成し、これらのセッションをリードし、各セッションの結果をテスト活動の見積り、計画、モニタリング、コントロールのために活用する
TM3	組織のポリシーおよびテスト戦略と一貫性のあるテスト計画を策定し実装する
TM4	テスト活動を継続的にモニタリングしコントロールして、プロジェクト目標を達成する
TM5	テスト状況を適時、評価し、プロジェクトステークホルダへ報告する
TM6	テストチーム内のスキルおよびリソースのギャップを特定して、適切な人材調達に参画する
TM7	テストチーム内の必要なスキルの開発を特定し計画する
TM8	想定されるコストとメリットを概要するテスト活動のためのビジネスケースを提案する
TM9	テストチーム内および他のプロジェクトステークホルダとのコミュニケーションを体系化し確立する
TM10	プロセス改善の取り組みに参画し、この取り組みを主導する

テストマネージャの学習時間の割合

以下の学習時間は、K2、K3、K4レベルの学習を対象に記載しています。

章	時間	割合
第1章 テストプロセス	420分	21%
第2章 テストマネジメント	750分	38%
第3章 レビュー	180分	9%
第4章 欠陥マネジメント	150分	8%
第5章 テストプロセスの改善	135分	7%
第6章 テストツールおよび自動化	135分	7%
第7章 スタッフのスキル – チーム構成 –	210分	11%
合計	1980分	100%

K1レベルは全ての章が対象になります。

知識のレベル

■ K1 (記憶レベル)

- 用語または概念を認識し、記憶して、想起することができる。

■ K2 (理解レベル)

- 課題に関連する記述について理由または説明を選択することができる。
- テスト概念、テスト手順(タスクの順番の説明)に関して要約、比較、分類、類別することができる。
- テスト概念に関して例を挙げることができる。

■ K3 (適用レベル)

- 概念または技法を正しく選択することができる。
- それを特定の事例に適用することができる。

知識のレベル

■ K4 (分析レベル)

- 手順または技術に関連する情報を分類し、理解しやすくするため各部分に分割し構成することができる。
- 同時に事実と推論を区別することができる。
- 典型的な適用例として、問題を解決するためやタスクを実行するために、ドキュメント、ソフトウェア、プロジェクトの状態を分析し、適した活動を提案できる。

試験範囲

※1:

AL: Advanced Level

FL: Foundation Level

- ALシラバス＋FLシラバス※1
 - FLシラバスに記述されている内容を含めて問題を構成します。
 - そのため、FLシラバスに書かれている概念や技法を用いる問題が、出題される可能性があります。
 - これらシラバスで使用されている用語と定義については「ソフトウェアテスト標準用語集」に従います。

- ALシラバスには、資格種別ごとに学習の目的があります。
 - シラバスのリストには、K2・K3・K4レベルの学習目的のみを記載していますが、本シラバスのすべての箇所が、K1レベル、すなわち用語や概念についての知識として試験対象となります。

Advanced Level 受験資格

- 次に示す1と2の条件をすべて満たす者
 1. JSTQB認定テスト技術者資格Foundation Level資格の合格者
 - 受験申込書類に、認定書の写しの添付が必要
 - 認定書を無くした場合は合格証明書の発行を依頼して添付
 - 他国でFoundation Level資格に合格している場合も受験可
 - この場合も認定書の写し、または合格証明書の添付が必要

Advanced Level 受験資格

- 次に示す1と2の条件をすべて満たす者
 - 2. 下記業務に関して通算3年以上の経験とそれを示す「経歴書」提出が必要
 - ソフトウェア開発に関する業務
 - ソフトウェア開発のプロセス改善を含む品質保証に関する業務
 - ソフトウェアの研究開発(R&D)に関する業務
 - ソフトウェアテストに関する業務

※業務経験3年は経歴書の内容で判断

→ご本人、または経歴書記載の連絡先に対して確認をする場合あり

試験形式

■ 実施形式

- 試験時間 : 180分
- 出題形式 : 複数の選択肢から正解を選ぶ形式
→複数の正解を選ぶ形式で出題される場合もあります
- 解答形式 : マークシート記述式
- 問題数 : 65問
- 退出可能時間 : 60分経過後／再入場はできません
- 合格ライン : ISTQBの「ISTQB Exam Information」に従います。
<http://www.istqb.org/downloads/viewcategory/6.html>

■ 受験時に持参が必要なもの

- 受験票
- 筆記用具 : 鉛筆・消しゴム

次回試験について

ALテストマネージャ試験 実施要項

- 資格種別 : テストマネージャ
- 日時 : 2014年2月15日(土) 10:00～13:00
- 開催地域 : 東京、名古屋、大阪 他(予定)
- 試験料 : 21,000円(税込)
- 受験資格 : 次の1と2の条件をすべて満たす者とする。
 1. JSTQB認定テスト技術者資格 Foundation Level資格の合格者
 2. 業務経験3年以上(経歴書の提出あり)
- 申込開始 : 2013年10月下旬(予定)
- 主催 : NPO法人ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER) JSTQB
- 試験実施 : 一般財団法人 日本科学技術連盟

ご静聴
ありがとうございました。